

【⑦私がMSWを目指したきっかけ】

…高校生の頃、祖母の入院中に自宅へ退院させたいと願っていましたが、それを叶えることはできませんでした。この経験が心に残る中、大学でMSW（医療ソーシャルワーカー）の存在を知り、「もし当時MSWが介入していたら、自宅退院が可能だったのではないか」と考えるようになりました。この思いをきっかけに、自分自身がMSWになろうと決意しました。

【⑧MSWになるために学生時代にやっておいた方がいいと思うこと】

…まずは、思いきり遊ぶこと。さまざまな人と関わり、異なる世界に触れることで、偏見のない柔軟な心を育むことが大切です。病院では固定観念を持ちやすく、レッテルを貼りがちな環境だからこそ、偏見のない視点で支援できることが大切だと思っています。次に、学ぶべきは「介護保険のしくみ」と「病院の機能分化」。これらを理解していれば、回復期で即戦力として活躍できます。最後に、パソコン操作とタイピングスキル。スムーズな操作は業務効率を高め、タイピングのスピードが仕事の進行を左右します。スマートな作業ができると、よりスムーズに業務をこなせるはずです。

【⑨MSWの魅力・やりがい】

…支援に決まった形や正解はありません。さまざまな状況の方と関わる中で悩むこともあります。その分、一人ひとりに寄り添い最適な支援を考えられることが魅力です。次に、患者さんや家族の不安を和らげられること。退院後の生活を見据えた支援をすることで、安心につながられます。最後に、患者さん・家族の立場に立ち、一緒に考えられること。MSWは病院で唯一の福祉職として、医療の情報を持ちつつ、退院後の生活を共に考える重要な役割を担っています。

人材として求められる要件

- 社会人としてのモラルはもちろん、ソーシャルワーカーとしての幅広い知識と教養、地域の医療保健福祉を向上したいというアツい思いを持っている
- 社会福祉士だけでなく、精神保健福祉士、ケアマネジャー、福祉住環境コーディネーターなど取得できる資格は何でも取ってやろうという人、大歓迎！

9 MSWの魅力ややりがい

当院は急性期MSWとはまったく違う職場となります。良くも悪くも患者と長く付き合うので、深くかかわることに抵抗感のない人が向いているかもしれません。

当院は慢性期の医療施設なので、相談援助は少ないです。車いすの介助、送迎バスの運行管理、新規転入の対応、療養入院の手配、在宅療養支援診療所とのやりとり、ケアマネージャさんとの調整など多岐にわたります。

在宅に深くかかわるMSWです。まだ在宅にMSWは少ないですが、これから増えていくと思います。在宅に興味のある方は、当院のようなところが向いているかもしれません。

- ①患者さんの生活への支援ができる
- ②チームで働くことの楽しさが分かる
- ③法人・病院が支援の味方になってくれる
- ④ライフスタイルが変化しても働き続けられる

千秋病院の
魅力

MSWとしてやりがい、はたらきやすさは？

⑧MSWになるために学生時代にやっておいた方がいいと思うこと

- 1)実習やインターンシップを行うだけでなく、MSW業務の苦勞、喜びなど「生の声」を聞き、できるだけ心構えをしっかりとっておくといいな、と思います。
- 2)電子カルテでの記録作成も含め、パソコンを日常的に使用します。業務量を考えると、「ブラインドタッチ」ができるようにしておくことは最低条件だと考えます。資料を作成することも多いため、エクセル、パワーポイント程度は使いこなせるようにしておくこと更に良いと考えます。
- 3)ゼミや授業などで発言し、討論したりするだけでなく、司会進行役を積極的に担いましょう。なぜならば、クライエントとの面接やカンファレンスでも比較的物怖じせずに済みます。MSWは多職種連携において「まとめ役」を期待され、司会者役を担うことも多いです。

⑨MSWの魅力ややりがい

MSWの大変さとは、「板挟み」にあうことだ、とよく言われます。例えば、平均在院日数を短縮したい病院側と、できれば長く入院したい患者側、双方から意向(圧力?)をMSWに寄せます。また、医師はしっかり病状を説明した(つもり)でも、患者は病状を知らない、聞いていないとMSWに対しておっしゃることもあります。これら「板挟み」状態のときこそ、MSWは、調整、代弁機能などを駆使し、双方(例の場合には、病院⇄患者、医師⇄患者)の意向や考えを統合して、患者にとっての最善とは何かを考えていきます。

格差社会、少子高齢化、人口減少、多死時代と言われる現代、医療現場では「板挟み」は深化します。だからこそ、ソーシャルワークの真価が問われるのではないのでしょうか。MSWとして、その課題を真正面から捉えながら、しかし「しなやかに」に解決していくこと、これが魅力でもあり、やりがいだと私は思います。

JA三重厚生連

◆ MSWを目指したきっかけ

4年生大学(経営学部)を卒業し、家族の勧めで介護職員初任者研修を受講した事が医療・福祉の業界で働くきっかけとなりました。総合病院の回復期リハビリ病棟で介護士として従事するなか、身体機能が向上し、在宅復帰が見込める患者様が施設入所に至る状況を何度も経験した事が、退院支援の舵取り役を担うMSWになりたいと考えるようになったきっかけです。通信課程で2年間福祉系大学に学び、社会福祉士の資格を取得しました。MSWとして従事するようになり、身体機能だけでなく家族背景や金銭面等、在宅復帰に繋がらない理由が他にある事を痛感しました。

◆ 学生時代にやっておいた方がいい事

実習・研修・就職説明会・病院見学等を活用し、たくさんの現任MSWに会われる事を強くお勧めします。ロールモデルとなる現任MSW達と接する事で、皆様の目指すMSW像の構築の一助となります。カッコいい先輩MSWを見つける事が成長の近道です。

◆ MSWの魅力・やりがい

MSWの仕事は“人生を回復させる仕事”です。病気・怪我は突然やってきます。患者様は身体機能だけでなく、日常生活も一変します。ご家族も同様です。そのような人生の岐路に対し、患者様・ご家族のもつ力を充分に発揮できるよう、前向きな言葉で支援を展開します。MSWがどのように関わるかで患者様・ご家族の人生を左右する事となります。この点だけを見ても、大変やりがいのある仕事だと言えます。

私たちと一緒に働きませんか。

MSWとしての
素晴らしい一歩に
なることを保証します！

ご覧いただきありがとうございました！